

第2章 大阪府の天然記念物

本章では大阪府内の天然記念物（植物）82件（大阪府指定文化財78件、国指定文化財4件）を紹介します。各樹木についてはカナ順に以下のページに並んでいます。

イチョウ	6	サザンカ	35
イブキ（ビャクシン）	10	シイ	36
イスノキ	12	スギ	38
オヒョウ	13	ソテツ	39
カイドウ	14	ツツジ	40
カクレミノ	15	ツバキ	41
カシ	16	トチ	43
カヤ	18	ナギ	43
カツラ	19	ハス	44
ギンモクセイ	20	ブナ	45
クスノキ	21	マキ	47
クワ	30	ムク	48
クロガネモチ	31	モクゲンジ	50
ケヤキ	32	モミジ	51
サイカチ	33	ヤマモモ	52
サクラ	34		

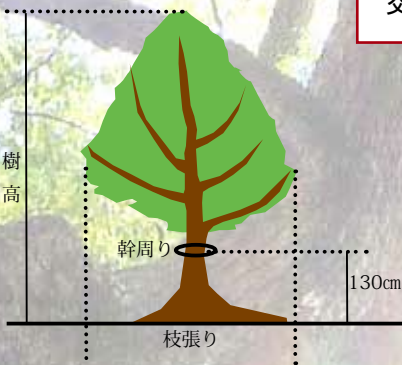
データの見方

番号・名称

本冊子における通し番号と指定名称

樹高・幹周り・他

文化財指定時における樹木の各部の寸法。下図参照



3 光明寺のいちよう 府

樹高：14m 幹周り：3.9m

樹齢：400年 指定年：平成12年2月8日

所在地：箕面市西小路2-170

交通：阪急箕面線「牧落」駅から、北へ徒歩800m

文化財の種別

国指定文化財

大阪府指定文化財

文化財指定年

文化財への指定年および解除年

樹齢 文化財指定時におけるおおよその樹齢

所在地

神社・寺院などにある樹木を見にいかれる時は、敷地内への立ち入りの際に配慮願います。個人宅の場合は地元市町村教育委員会にご相談ください。

交通

公共交通機関を利用した交通手段を紹介しています。便数の少ない路線がありますので、事前にダイヤを確認することをお勧めします。



1 難宗寺のいちょうなんしゅうじ

樹 高：25m 幹周り：4.7m
 樹 齢：400年 指定年：昭和50年3月31日
 所在地：守口市竜田通5-2
 交 通：京阪本線「守口市」駅下車、北東へ徒歩400m

難宗寺境内の山門脇にあります。樹高は25mを超え、枝張りが幹より南へ約15m、北へ約13m張り出し、周囲の建込んだ建物に覆いかぶさるような形で広く高く伸びています。

イチョウ

現生のイチョウは1属1種で中国が原産地ですが、中生代（2億5千万年前～6千5百万年前）に最も栄えた裸子植物のグループ唯一の生き残りで、「生きた化石」の一つとして植物学上重要な種です。化石になったイチョウは日本でも発見されています。一度絶滅し、再び日本に持ち込まれたのは11世紀以降と言われていますが、はっきりしたことはわかりません。

イチョウには雄木と雌木がありますが、大きな特徴

として雌株に入った花粉から直接受精するのではなく、そこでいったん精子が生成されて受精するというきわめて珍しい生態を持っているということです。種子植物であるイチョウにも精子があるということは、1896年、東京帝国大学の平瀬作五郎によって発見されました。

さらにイチョウが他の樹と大きく違う特徴として、幹や枝から垂れ下がった「乳」と呼ばれる気根があります。樹齢300年を超えるものにも出現するようです。



2 倉垣天満宮のいちよう府

樹 高：18m 幹周り：8m
 樹 齢：不明 指定年：昭和45年2月20日
 所在地：能勢町大字倉垣989
 交 通：能勢電鉄「妙見口」駅から、阪急バス奥田橋・能勢町宿野方面行き「歌垣山登山口」下車、北東へ徒歩150m

国道脇にある鳥居をくぐり、石段を登ること数分。顔を上げた瞬間に眼に飛び込んでくる重厚で凛々しいその姿に感動すら覚えます。天正12(1584)年にすでに巨樹であったとの伝承が残っており、それが正しければこの樹の樹齢は400年を超えています。

この乳イチョウには乳のでない母親が、乳がでるように祈りに来るという信仰が各地で見られます。

イチョウは大きいものでは高さ30～40m、直径5mほどの巨樹に育ちます。寺社に多く植えられており、並木にもよく利用されます。秋の黄葉はあざやかで、落葉も風情があり、落ち葉を踏んでの散策や銀杏拾いは秋の風物詩にもなっています。

また黄葉したイチョウの落葉する様を読んだ与謝野晶子の「金色のちひさき鳥のかたちして銀杏散るなり夕日の岡に」は有名です。

イチョウは大阪府の府樹に、八尾市、泉佐野市の市樹になっています。

銀杏は食用に、材は均質で水に強いいため家具や高級な板などに利用されます。

葉や実にアレルギー成分を含むため、かぶれや中毒症状を起こすことがある一方、薬効成分も認められており、漢方では葉が咳を鎮める薬として、ドイツでは葉から抽出したエキスが認知症の改善薬として認められています。



3 光明寺のいちよう府

樹 高：14m 幹周り：3.9m
 樹 齢：400年 指定年：平成12年2月8日
 所在地：箕面市西小路2-170
 交 通：阪急箕面線「牧落」駅から、北へ徒歩800m

光明寺に向かうには、集落の屋根の上からすくと伸びたこの樹が目標になります。樹に近づくと、幹には乳(気根)が多数垂れ下がり、この樹が生きてきた悠久の時を感じさせます。



気根(1)



気根(2)



ぎんなん

4

4 乾邸のいちよういぬいてい府

樹 高：25m 幹周り：4.1m

樹 齢：200年 指定年：昭和51年3月31日

所在地：茨木市安威2丁目7-14

交 通：阪急「茨木市」駅から、阪急バス「桑原橋」方面
行き「塚原口」下車、西へ徒歩300m

個人宅のイチヨウとしては府内随一の巨樹です。枝が剪定されているため横には広がらず、空に向かってまっすぐ伸びています。集落一番の高木として知られています。



5

5 白山神社のいちようはくさんじんじや府

樹 高：21m 幹周り：4.5m

樹 齢：不明 指定年：昭和45年2月20日

所在地：大阪市城東区中浜2丁目3

交 通：地下鉄中央線「緑橋」駅下車、北西へ徒歩800m

参拝に来た人たちは祭神に手あわせ、この大樹にも手を合わせます。樹勢は旺盛で、豊かに葉が生い茂っていますが、雄株であるため銀杏は実りません。

かつては平野川の堤防上に多くの樹木が繁茂し社叢を構成していましたが、現在はこのイチヨウだけがその面影を残しています。

6 旭神社のいちようあさひじんじや府

樹 高：20m 幹周り：2.5m

樹 齢：400年 指定年：昭和56年6月1日

所在地：大阪市平野区加美正覚寺1丁目17-30

交 通：JR大和路線「平野」駅下車、東へ徒歩700m

拝殿の前にあって大きな存在感をみせるイチヨウです。別々に育ってきた三本の樹がいつの頃からか寄り添い、融合して一本の樹となって時を重ねています。



6